愛知大学綜合郷土研究所 公開シンポジウム

副葬品がかたる古墳文化

―寺西1号墳シンポジウム―

象嵌で飾られた鍔（つば）

寺西1号墳の
副葬品を会場で展示

保存処理後
初公開

2022年

3月19日（土）

開場 12:00
開会 13:00

参加無料　**当日先着 300人**

※新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合があります

会場／豊橋市公会堂

豊橋市八町通二丁目22番地
豊橋鉄道市内線「市役所前」下車すぐ

豊橋市公会堂
（国登録有形文化財）

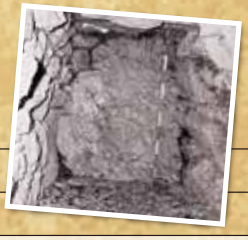
新型コロナウイルス感染対策	◉手洗い・手指消毒を徹底し、マスクを持参のうえご参加ください。 ◉当日は検温のうえご参加ください。 ◉体調不良の方は、参加をおひかえください。

目的

寺西1号墳は、豊橋市石巻小野田町にかつて存在した6世紀後葉の直径25メートルの円墳です。愛知大学が昭和40年（1965）に緊急発掘調査を行い、未盗掘の横穴式石室から鉄器を中心とする大量の副葬品が出土しました。

その後、副葬品は長く愛知大学綜合郷土研究所に保管され、一部は豊橋市教育委員会にも収蔵されました。令和元年から3年度にかけて副葬品の一部の整理作業及び大刀の保存処理を行い、後期古墳としては破格の内容であることが明らかになりました。

このシンポジウムは、整理作業の成果を公表し、古墳文化への理解を深めることを目的にしています。



Program

12:00	開場
13:00	開会あいさつ
13:05	「寺西1号墳とはどんな古墳か」岩原 剛（豊橋市文化財センター）
13:30	「象嵌装大刀」初村 武寛（〔公財〕元興寺文化財センター） ※zoomまたはビデオ発表
13:55	「武器・馬具」大谷 宏治（静岡県文化財課）
14:35	「須恵器」大西 遼・尾崎 綾亮 （愛知県陶磁美術館・愛知県埋蔵文化財調査センター）
15:00	「6~7世紀の古代氏族」廣瀬 憲雄（愛知大学文学部）
15:45	セッション
16:45	閉会あいさつ

主催・問合せ ●愛知大学綜合郷土研究所（TEL0532-47-4160）　共催 ●豊橋市教育委員会　協力 ●東海古墳時代研究会